

教 科	英語	科 目	コミュニケーション英語Ⅱ
履修学年	2 学年	履修規定・週時間	3 (4)
教科書	Discovery I・II	副教材	Work Book
<p>1. 教科・科目の目標</p> <p>1) 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>2) 情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p> <p>3) 上記を通じて英語を使ったコミュニケーション能力を育成する。</p>			
<p>2. 学習内容</p> <p>北極と南極の違い、水木しげるの人生、工場の技術力、ポップスの王様のテーマを扱う。</p> <p>文法事項は、不定詞、関係代名詞、関係副詞、助動詞、動詞の時制（現在、過去、現在完了、現在完了進行、過去完了）、仮定法過去、分詞構文（現在・過去）を扱う。</p>			
<p>3. 学習方法</p> <p>Discovery</p> <p>Get Ready（題材内容関連投げかけ）、知識を自ら集めたり、意見を出し合う。</p> <p>Listen in（内容把握＋dictation）</p> <p>本文（内容理解と定着を図る）</p> <p>Check it（内容要点チェック、本文に下線、本文内容のパラフレーズ）</p> <p>Study Grammar（説明と例文提示、学習内容の整理、定着）</p> <p>Let's communicate（基本的表現の定着、話す活動の充実）</p> <p>Sum up（概要や要点をとらえ、まとめる）</p> <p>Practice（新出事項の確認・定着）</p> <p>Sound out（母音、つづり字と発音の関係、リズムや強勢、抑揚、イントネーション）</p>			
<p>4. 宿題</p> <p>予習（本文をノートに書いておく。単語を調べる。）</p> <p>単語プリント 文法問題プリントなど</p>			
<p>5. その他</p> <p>Work Book で習熟度を高める。</p>			